

平成23年度 事業報告



岡山理科大学専門学校

建築と動物そして魚のスペシャリストを養成。学生、保護者、高等学校、地域、関連業界の皆様へ支持される学校を目指します。



「使命」

われわれ専門学校に課せられた使命は、時代の進展に合わせた教育を図り、社会にとって有為で、且つ即戦力ある人材の育成を使命とし、更に、人道の「心」を醸成することを併せて本校の使命とします。

「方針」

「学ぶ」の語源が「真似ぶ」であるとするならば、社会にとって有為な人材を養成するには、その専門に卓越した教師でなければなりません。そして、社会を追随する教育ではなく、社会を率先する内容で人材の育成がなされなければなりません。その使命を果たすには、私を含め教職員がそのための研鑽を怠ってはなりません。

最先端科学が進行する現在、ややもすれば専門的な知識やテクノロジーが先行し、動植物の安寧が置き去りにされるケースがしばしば見受けられます。そのようなことは、決してあってはならないことであります。

アルベルト・アインシュタイン博士は、「人間にとって最も大切な努力は、自分の行動の中に道徳を追求していくことです。」と言い遺し、福島県出身の野口英世博士は、「人は能力だけではこの世に立つことはできない。たとえ、立身しても機械と同様だ。人は能力と共に徳を持つことが必要である。」と言い遺しています。

科学を志す者の本志は、偉人たちが遺してくれたこれらのメッセージに含まれる真意を尊重し、人々の生活を豊かにし、動植物に安寧を与えるものでなければなりません。

全学科が自然科学系に属する本校では、「科学を学ぶ心の育成」にも力を入れ最先端の学問の上に、教職員が一丸となつて、「心ある有為な人材の育成」を目指します。

岡山理科大学専門学校 校長 小林 正文

教育並びに施設の充実

■きめ細かい教育

チューター並びにサブチューターを中心とした教職員が学生個々を把握し、専門技術の習得はもとより、学生とのコミュニケーションを密にとり学習意欲の維持、メンタル面のサポート、就職活動の啓蒙等から満足度の高い学生生活のサポートを目標としてきました。専門教育の重要性、青年期の精神面等についての講演会を今年度後期より、RS特別講義として開始しました。技術面だけでなく、心の教育や就職後社会での活躍に対応出来る人材の育成を考えた講義で、講義後は学生から質問が出るなど大変好評でした。

■産官学連携の教育

平成21年度より、真庭市と包括教育協定を締結しました。そして、平成22年度は「温泉」をキーワードに動物系学科で「温泉入浴の動物に対する効果」の研究や、建築学科においては「温泉街の活性化プラン（例）」の提案など自治体と専門学校の連携による教育を開始しました。動物の温泉入浴実験について、昨年は研究の初歩段階であり、特に夏場ではデータのばらつきが大きかったため、今年度は精度の高い実験を計画し、動物看護学科を中心に「犬の温泉入浴による生理活性効果」の研究を進めてきました。この2年間の研究成果を、去る11月19日に大阪国際会議場で開催された第32

回動物臨床医学会年次大会において、入浴による保温効果とストレス不可の減衰につながるデータとして発表しました。そして、12月5日には報道関係の皆さんにも研究の中間報告としてその内容について報告をしました。

岡山県および岡山市が開催する動物の愛護啓蒙運動に積極的に参画することを目標とし、10月30日には岡山県動物愛護センター、11月17日には岡山市の獣医師会主催による動物愛護フェスティバルに学生および教職員がボランティア参加し、地元地域に貢献することができました。

アクアリウム学科においては、企業の受託研究を積極的に展開し、各種実験データから実用的な水生生物の飼育・繁殖を学びました。

■カウンセラーの配属

従来、精神的な悩みを抱えた学生は岡山理科大学等が招聘したカウンセラーに相談をしておりましたが、最近潜在的に悩みを抱えた学生が多く、平成22年4月より、本校に専門のカウンセラーを定期的に招聘し、学生並びに教職員の心の問題解決などのケアを行っています。今年度もこのカウンセリングを継続し、学生にとって一層利用し易くなるようにカウンセリング実施日を増やし、学生生活の充実を図ってきました。

今年度4月～12月までの期間で、学生から40件の相談があり、カウンセリングが悩みなどを抱えた学生の問題解決の一助となってきたと考えられます。

教職員の意識改革

■自己点検、自己評価 FD・SD

専任教員並びに非常勤講師を対象に実施している授業アンケートの結果を踏まえ、より良い授業が展開できるよう教材の改善及び教員の指導を実施してきました。

専任教員の授業担当時間を精査し、職位及び校

務分掌を考慮し、職務の均等化を目指し、また自己研鑽ができる時間を創出するよう配慮しました。

事務職員への対応及び施設設備等についてもアンケートを実施し、学生の満足度アップに繋げる改善を教育的考慮を加味しながら実践しました。

以上のように、今年度も授業アンケートを基に、本校での教育方法や学生との接し方、指導について検討を行い反映させてきました。

■コスト意識

人件費、光熱水費、教育・研究用消耗品については有効活用を図るため、合理化及び節約について事ある毎に啓蒙し、エコ教育に結びました。

特に、光熱費については学校内で節電ができ、削減ができております。

学科・コースの充実

■動物看護学科 3年制

動物の高度医療に対応する動物看護師の養成と動物看護師の制度化（公的資格化）に対応するため、従来の2年制コースに加えて、3年制のコースを平成22年度から開始しました。

少子高齢化が進む昨今、家庭内でペットはコンパニオンアニマルとして家族の一員となっています。そのようなコンパニオンアニマルの健康を獣医師と共に支える幅広い専門技術と知識を備えた動物看護師を養成します。また、3年制コースの目的は、動物看護の高度医療への要望、食品メーカーや産業動物分野等への職域の拡大、さらに動物介在医療の福祉分野のニーズに対応します。

今年度は動物看護職認定資格の制度化に伴い、動物看護学科3年制コースのカリキュラム改正を実施し、充実させました。

平成24年度に向けて

■新分野の学科創設

動物系の学科を立ち上げて9年が経過しました。多くの卒業生が、各現場で活躍しております。しかし、この業界は近年発展してきた新しい分野で今後の発展が期待されるものの、最近景気低迷等の影響から苦戦を強いられております。

そこで今後の岡山理科大学専門学校の繁栄を期して、既存の分野の建築系、アクア系及び動物系の学科と連携を図りながら、新しい教育内容の取組や資格取得に努めます。

犬のストレス負荷の特定器を医療機器メーカーと研究開発の予定です。

アクアリウム学科と建築学科のコラボによる、エコおよび自然環境の復元を視野に入れた屋上緑化の研究を計画中です。

■学校周辺の地元を対象とした学校見学会

地元の方々に本校の教育内容を知って頂くとともに、更なるご理解・ご協力を得るため、初めて平成22年9月に学校見学会を実施し、約30名の地元住民の方々に参加していただきました。来年度も引き続き、学校見学会を開催し、本校の教育内容や施設などを多くの方々に伝えていく予定です。

地元地域の学校等から要望があれば、生徒の地域研究などに協力し、地元地域の生徒たちに学校体験や教育内容を伝える予定にしています。

学生募集

■資料請求者の増加を図る

ホームページ、業者媒体などを通じて、資料請求者の増加をめざしました。

また、校内ガイダンスや進学相談会、資料頒布会などを通じて、高校生へのパンフレットを配布する機会を増やしました。

今年度も岡山県内を中心に中・四国地域の高校等に出向き、進学ガイダンスや説明会を展開しましたところ、現時点において資料請求者は増加の傾向にあります。

■オープンキャンパス参加者の増加を図る

ホームページや業者媒体を通じて、オープンキャンパス参加の告知を増やすとともに、資料請求者へのDMを用いることで、本校への見学者増加を目指します。この結果、オープンキャンパスの参加者は昨年（4月～12月時点）に比べ、若干の増加がありました。

■受験者の増加を図る

同分野を有する競合校との違いを明確にするため、オープンキャンパス、DMなどを通じて、受験生に対して本校のPRポイントを理解させ、受験生増加をめざしました。

特に、イベント開催日やトピックスなどについて各地にDMなどを配布し、細かく最新情報を伝えるようにしました。また、九州や四国地区の一部では、的を絞り無駄なく宣伝を行い、受験者が昨年より上回るように努めました。

■社会人の受験生増加を図る

18歳人口の減少に伴い、各学科において社会人受験生の増加に力を入れました。

このことにより、「社会人」入試の枠を設け実施し、昨年に比べ「社会人」の受験者増が図れました。

■広報強化地域

建築系及び動物系における学生確保が期待できる地域を分析して重点地域を設定するとともに積極的にメディアの利用、高校訪問、各種説明会を駆使して広報活動を展開しました。

学生募集は、昨年に引き続き広範囲に及ぶ広報活動を計画し実施します。九州や四国地区の一部に的を絞り、無駄なく広報活動を行い、オープンキャンパス参加者及び受験者が昨年を上回ることを念頭におき実施しました。

就職活動支援

■就職ガイダンス

これまでの課外時間（5時限）を利用した就職ガイダンスに加えて、ホームルームの時間を利用したクラス単位での就職ミニガイダンスを随時実施して、きめ細かい就職活動支援を行う機会を設けました。

主な就職ガイダンスの時期と内容は次の通りです。

- 1年生：10月 インターンシップの注意事項
11月 進路選択について
12月 情報収集と企業へのエントリー
3月 履歴書、面接試験について
2年生：5月 内定お礼状の書き方

■就職活動支援

1年次では12月の段階での進路希望調査書を基に1月より第一希望の分野を決定していきましました。動物系においても一般企業を希望する学生については2月より直ちに就職活動を開始させ、満足度の高い企業への就職を目指すよう指導しました。動物系専門職への就職は、3月以降のインターンシップ実習により第一志望企業への内定獲得を目指しました。

また、学生の就職意識啓蒙と就職相談の充実を図るため、就職課と各クラスチューターが連携をとって就職活動支援を活発に行いました。

主な行事

4月 8日	入学式
4月12日	授業開始
4月13日	授業開始
7月20日 ～8月19日	夏季休暇
9月 6日 ～10日	前期末試験
10月 1日	後期授業開始
12月23日 ～1月6日	冬期休暇
3月20日	卒業式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成23年5月1日現在)

課程・学科名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
工業 専門課程	建築学科(昼間部)	40	36	80	75
	建築学科(夜間部)	20	10	40	18
	福祉住環境デザイン学科 (募集停止)		—	—	—
	計	60	46	120	93
商業実務 専門課程	映像情報学科	(募集停止)	—	—	—
	計	(募集停止)	—	—	—
文化・教 養専門課 程	動物看護学科 3年制	30	16	60	31
	〃 2年制	20	27	40	51
	トリミング学科	40	43	80	73
	ドッグトレーニング学科	40	49	80	83
	アクアリウム学科	40	37	80	69
	計	170	172	340	307
文化・教 養一般課 程	トリミング学科	(募集停止)	—	—	—
	ドッグトレーニング学科	(募集停止)	—	—	—
	アクアリウム学科	(募集停止)	—	—	—
	計	(募集停止)	—	—	—
計		230	218	460	400
建築学科専攻科		10	8	10	8
動物系総合学科研究科		10	13	10	13

(単位：人)

■卒業生数等一覧

(平成23年度)

区分	卒業生	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学 者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
岡山理科大学専門学校	181	154	148	96%	15	19	2	4

※ 修業年限を超えて在籍している学生数 (平成24年4月1日現在) (単位：人)

主な就職先	株式会社フジタ、株式会社荒木組、エス・バイ・エル・カバヤ株式会社、両備住宅 真庭動物医療センター、ほなみ動物病院、ペットワールドアミーゴアリオ倉敷、 水産総合研究センター屋島庁舎、丹後魚っ知館、宮津エネルギー研究所.他 118
-------	---

■教職員数

(平成23年5月1日現在)

校長	副校長	教員	教員 計	事務職員
1	0	11	12	13

(単位：人)

財務関係

■消費収支

(単位：千円)

年度 科目	23年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入	348,573	335,147
補助金収入	342	356
その他収入	26,810	5,048
帰属収入合計	375,725	340,551
基本金組入額合計	△ 14,813	△ 3,750
消費収入の部合計	360,912	336,801
人件費	295,243	206,051
教育研究経費	87,364	85,290
管理経費	35,193	30,895
その他支出	3,193	2,201
消費支出の部合計	420,993	324,437

※人件費に退職給与引当金特別繰入額を計上しています(14頁参照)

■施設設備整備(抜粋)

(単位：千円)

事業名	金額
4校舎1階ピロティ南側 舗装工事一式	180
1校舎2階講義室エアコン設備一式	714
標本震転機1台	270
女子寮給湯システム設備一式	350
財務システムパソコン一式	530